## 【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【提出日】 平成19年8月24日

【中間会計期間】 第52期中(自 平成18年1月1日 至 平成18年6月30日)

【会社名】 株式会社 アサツー ディ・ケイ

【英訳名】 ASATSU-DK INC.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 長 沼 孝一郎

【本店の所在の場所】 東京都中央区築地一丁目13番1号

【電話番号】 03 (3547) 2654

【事務連絡者氏名】 経理局長 阿 部 清 彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地一丁目13番1号

【電話番号】 03 (3547) 2654

【事務連絡者氏名】 経理局長 阿 部 清 彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

#### 1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成18年9月29日に提出いたしました第52期中(自 平成18年1月1日 至 平成18年6月30日) 半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため半期報告書の訂正報告書 を提出するものであります。

### 2 【訂正事項】

#### 第一部 企業情報

- 第1 企業の概況
  - 1 主要な経営指標等の推移
  - (1) 連結経営指標等
- 第5 経理の状況
  - 1 中間連結財務諸表等
  - (1)中間連結財務諸表 注記事項(1株当たり情報)

#### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

## 第1【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次		第50期中		第51期中		第52期中		第50期		第51期	
会計期間		自至	平成16年 1月1日 平成16年 6月30日	自至	平成17年 1月1日 平成17年 6月30日	自至	平成18年 1月1日 平成18年 6月30日	自至	平成16年 1月1日 平成16年 12月31日	自至	平成17年 1月1日 平成17年 12月31日
売上高	(百万円)		203, 641		212, 804		213, 801		413, 898		424, 705
経常利益	(百万円)		5, 525		5, 215		5, 602		10, 257		10, 482
中間(当期)純利益	(百万円)		2, 844		3, 001		3, 472		5, 181		5, 946
純資産額	(百万円)		124, 569		126, 562		136, 391		123, 894		134, 751
総資産額	(百万円)		233, 567		236, 666		247, 721		238, 900		246, 867
1株当たり純資産額	(円)		2, 520. 52		2, 611. 88		2, 850. 41		2, 554. 78		2, 809. 30
1株当たり中間(当期) 純利益	(円)		57. 56		61. 94		72. 55		103. 25		122. 11
潜在株式調整後1株 当たり中間(当期)純利益	(円)		=		=		=				=
自己資本比率	(%)		53. 3		53. 5		54. 7		51.9		54.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		8, 986		7, 217		5, 293		7, 301		189
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		△1,660		△2, 602		△996		△3, 764		△5, 202
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		△483		△567		△3, 244		△3, 956		△3, 128
現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	(百万円)		36, 946		33, 839		23, 532		29, 778		21, 938
従業員数	(名)		2, 795		2, 998		2, 997		2, 784		2, 851

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
  - 2 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益は潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
  - 3 従業員数は、就業人員数を表示しております。
  - 4 第51期中間連結会計期間末における従業員数の増加は、主としてイベント業務の増加に伴う㈱ADKアーツの期間従業員の増加によるものです。
  - <u>5</u> 第52期中間連結会計期間末における、第51期連結会計期間末比の従業員数の増加は主として当期より SHANGHAI DAIICHIKIKAKU FORTUNE ADVERTISING Co., Ltd. を連結子会社に加えたことによるものです。
  - 6 第52期中から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12 月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」 (企業会計委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

#### (訂正後)

回次		第50期中	第51期中	第52期中	第50期	第51期
会計期間		自 平成16年 1月1日 至 平成16年 6月30日	自 平成17年 1月1日 至 平成17年 6月30日	自 平成18年 1月1日 至 平成18年 6月30日	自 平成16年 1月1日 至 平成16年 12月31日	自 平成17年 1月1日 至 平成17年 12月31日
売上高	(百万円)	203, 641	212, 804	213, 801	413, 898	424, 705
経常利益	(百万円)	5, 525	5, 215	5, 602	10, 257	10, 482
中間(当期)純利益	(百万円)	2, 844	3, 001	3, 472	5, 181	5, 946
純資産額	(百万円)	124, 569	126, 562	136, 391	123, 894	134, 751
総資産額	(百万円)	233, 567	236, 666	247, 721	238, 900	246, 867
1株当たり純資産額	(円)	2, 520. 52	2, 611. 88	2, 850. 41	2, 554. 78	2, 809. 30
1株当たり中間(当期) 純利益	(円)	57. 56	61. 94	72. 55	103. 25	122. 11
潜在株式調整後1株 当たり中間(当期)純利益	(円)	57. 52	61.90	72.49	<u>103. 19</u>	<u>122. 04</u>
自己資本比率	(%)	53. 3	53. 5	54. 7	51.9	54. 6
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	8, 986	7, 217	5, 293	7, 301	189
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	△1,660	△2, 602	△996	△3, 764	△5, 202
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	△483	△567	△3, 244	△3, 956	△3, 128
現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高	(百万円)	36, 946	33, 839	23, 532	29, 778	21, 938
従業員数	(名)	2, 795	2, 998	2, 997	2, 784	2, 851

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 削除

- 2 従業員数は、就業人員数を表示しております。
- 3 第51期中間連結会計期間末における従業員数の増加は、主としてイベント業務の増加に伴う㈱ADKアーツの期間従業員の増加によるものです。
- 4 第52期中間連結会計期間末における、第51期連結会計期間末比の従業員数の増加は主として当期より SHANGHAI DAIICHIKIKAKU FORTUNE ADVERTISING Co., Ltd. を連結子会社に加えたことによるものです。
- 5 第52期中から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12 月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」 (企業会計委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

# 第5 【経理の状況】

## 1 【中間連結財務諸表等】

(1) 【中間連結財務諸表】

注記事項

(1株当たり情報)

(訂正前)

前中間連結会計期間 (自 平成17年1月1日 至 平成17年6月30日)		当中間連結会 (自 平成18年 至 平成18年	1月1日	前連結会計年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)		
1株当たり 純資産額	2,611円88銭	1株当たり 純資産額	2,850円41銭	1株当たり 純資産額	2,809円30銭	
		なお、当中間連結 資産額には少数株主 ッジ損益を含んでお	持分及び繰延へ			
1株当たり 中間純利益	61円94銭	1株当たり 中間純利益	72円55銭	1株当たり 当期純利益	122円11銭	
なお、潜在株式調整後	-	なお、潜在株式調		なお、潜在株式調整後1株当たり		
の中間純利益については が存在しないため記載し		の中間純利益につい が存在しないため記		<u>の当期純利益については、潜在株式</u> が存在しないため記載しておりませ		
<u>~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </u>	,,,,,	<u>ん。</u>	77.5	<u>h.</u>		
<u>1株当たり中間純利益の算定上の基</u> <u>礎</u>		算定上の基礎 1 1株当たり純資	産額	<u>1株当たり当期純利益の算定上の基</u> <u>礎</u>		
中間連結損益計算 書上の中間純利益 3	3,001百万円	中間連結貸借対照 表上の純資産額	136, 391 百万円	連結損益計算書上 の当期純利益	5,946百万円	
普通株主に 帰属しない金額	—百万円	普通株式に係る 中間期末の 純資産額	135, 393 百万円	普通株主に 帰属しない金額 (役員賞与)	38百万円	
世 申 利 州 州 仙 一 並 活 井 土 の	3,001百万円	普通株主に 帰属しない金額	997百万円	普通株式に係る 当期純利益	5,908百万円	
期中平均株式数 48	3, 455, 403株	(少数株主持分) 普通株式の 中間会計期間末数	47, 499, 676株	普通株式の 期中平均株式数	48, 391, 630株	
		2 1株当たり中間	純利益			
		中間連結損益計算 書上の中間純利益	3,472百万円			
		普通株主に 帰属しない金額	一百万円			
		普通株式に係る中間純利益	3,472百万円			
		普通株式の 期中平均株式数	47, 856, 648株			

#### (訂正後)

前中間連結会計期間		当中間連結会		前連結会計年度		
(自 平成17年1月1日 至 平成17年6月30日)		(自 平成18年 至 平成18年		(自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)		
1株当たり 純資産額	2,611円88銭	1株当たり 純資産額	2,850円41銭	1株当たり 純資産額	2,809円30銭	
		なお、当中間連結 資産額には少数株主 ッジ損益を含んでお	持分及び繰延へ			
1株当たり中間純利益	61円94銭	1株当たり中間純利益	72円55銭	1株当たり当期純利益	122円11銭	
潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	61円90銭	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	72円49銭	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	<u>122円04銭</u>	
削除		削除		<u>削除</u>		
1株当たり中間純利		算定上の基礎	tr ha	1株当たり当期純利益および潜在株		
式調整後1株当たり 定上の基礎	中間純利益の昇	1 1株当たり純資	<b>苼</b> 頟	式調整後1株当たり当期純利益の算 定上の基礎		
中間連結損益計算書上の中間純利益	3,001百万円	中間連結貸借対照 表上の純資産額	136, 391 百万円	連結損益計算書上の当期純利益	5,946百万円	
普通株主に 帰属しない金額	一百万円	普通株式に係る 中間期末の 純資産額	135, 393 百万円	普通株主に 帰属しない金額 (役員賞与)	38百万円	
普通株式に係る 中間純利益 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3,001百万円	普通株主に 帰属しない金額	997百万円	普通株式に係る 当期純利益	5,908百万円	
普通株式の 期中平均株式数 潜在株式調整後1	48, 455, 403株	(少数株主持分) 普通株式の 中間会計期間末数	47, 499, 676株	普通株式の 期中平均株式数	48, 391, 630株	
株当たり中間純利 益の算定に用いら れた中間純利益調 整額 (関連会社の発行 する潜在株式の影 響による持分法投 資損益)	△1百万円	2 1株当たり中間: 在株式調整後1株当: 中間連結損益計算 書上の中間純利益 普通株主に 帰属しない金額		潜在株式調整後1 株当たり当期純利 益の算定に用いら れた当期純利益調 整額 (関連会社の発行 する潜在株式の影	△3百万円	
普通株式増加数	<u>一株</u>	普通株式に係る 中間純利益	3,472百万円	<u>資損益)</u> 普通株式増加数		
希薄化効果を有していないため、 潜在株式調整後1株当たり中間純利		普通株式の 期中平均株式数	47, 856, 648株		 ていないため、	
益の算定に含めなかった潜在株式の概要 特分法適用会社 デジタル・アドバタイジング・ コンソーシアム㈱のストックオプション 平成16年2月26日 定時株主総会決議 ストックオプション		潜在株式調整後1 株当たり中間純利 益の算定に用いら れた中間純利益調 整額 (関連会社の発行 する潜在株式の影 響による持分法投 資損益)	△2百万円	潜在株式調整後1株 益の算定に含めなか 概要 該当事項はありまっ	った潜在株式の	
普通株式 4,000株 (新株予約権 2,000個)		普通株式増加数	<u>一株</u>			
		不薄化効果を有し 潜在株式調整後1株 益の算定に含めなか 概要 持分法適用会社 デジタル・アドバ コンソーシアム㈱ ション 平成18年2月24日 定時株主総会決議 ストックオプション	当たり中間純利 った潜在株式の タイジング・ のストックオプ			
		音通株式10,(新株予約権	<u>000株</u> 10,000個)			